

那覇国際高等学校

学校だより 第3号



熱狂！新入生歓迎球技大会！



「行事を通して新入生を歓迎し、学級や学年間の交流を深めるとともに、学級の団結を強め、新年度に向けて学校全体を盛り上げる」を目的に4月30日、「新入生歓迎球技大会」実施されました。今回、初めて「那覇市民体育館」での実施となり、広い施設で各学年、各学級とも一致団結して「バレーボール球技」に取り組み、学級の団結を強め、学年の交流を深める機会となりました。



今後の行事予定

- 5月
- 13日(火) 3学年集会
 - 14日(水) 中間考査1日目
エンカレッジ事業説明会 県総体推戴式
 - 15日(木) 中間考査2日目
 - 16日(金) 中間考査3日目
3年生先行模擬試験
 - 17日(土) 共通テスト模擬試験(3年必修)
 - 19日(月) 生徒会長選挙 二者面談①
 - 20日(火) 必修小論文模試(2・3年生)
二者面談②
 - 21日(水) 1学年集会
 - 22日(木) 歯科検診・身体測定聴力検査
二者面談③
 - 23日(金) 県高校総体総合開会式
二者面談④

名言・名句

Life isn't worth living,
unless it is lived
for someone else.

誰かのために生きること
初めて、人生に
価値が生まれる。



【解説】

これはドイツ生まれの理論物理学者で、特殊相対性理論および一般相対性理論などを提唱したアルベルト・アインシュタインの言葉である。彼はこれまでの物理学の認識を根本から変え、「20世紀最高の物理学者」とも称され、光量子仮説に基づく光電効果の理論説明によって1921年にノーベル物理学賞を受賞しました。

空手部シード権獲



「令和7年度沖縄県高等学校空手道夏季大会」が4月26日に開催され、本校女子空手部が団体組手3位となり、県高校総体でのシード権を獲得しました。また、女子個人組手でカーン・イ・ダロシーさん(3年9組)がベスト8に入り同じく高校総体でシード権を獲得しました。

吹奏楽部 定期演奏会！



本校吹奏楽部の「第10回定期演奏会」が3月27日、浦添市「てだこホール」にて開催されました。昨年度は「沖縄県高等学校総合文化祭吹奏楽部門」に出場し、今年夏に開催される「全国高等学校総合文化祭香川大会」への推薦を獲得するなど、多くの成果を収めました。演奏会は三部構成で行われ、聴衆に音楽の魅力を存分に伝える素晴らしい演奏を披露しました。



ダンス部 定期公演会！



本校ダンス部の発表会「Let's sparkle together 2025」が4月29日、浦添市「てだこホール」にて実施されました。3年生部員にとっての引退公演となり、全力のパフォーマンスで観客に感動と喜びを与えました。



合格体験記 2 (早稲田大学 文化構想学部 指定校推薦)



(1) この大学(学科)を選んだ理由

沖縄県は子供の相対的貧困率が高いという問題があります。私は、父が経営するIT会社を継ぎ、経営者の立場から、この問題の解決に向けた取り組みを行っていきたくと考えています。文化構想学部は、心理学、経済、医療など他にも様々な分野に渡った研究が行われているため、会社経営に必要な社会のニーズ(今何が求められているのか?)に加え、沖縄が抱える問題である子供の貧困について並行して研究できると考え入学を希望しました。

(2) 高校在学中の勉強方法について

高校1年生の頃から推薦を出したいと考えていたので、成績を落とさないよう意識してきました。そのため、定期テストや単元テスト、単語・知識力テストなどに力を入れていました。また、数学、国語においては模試の振り返りによって復習していました。3年生になってから受験に向けて本格的に受験生勉強を始めました。3年生の夏休み中は数学、理科基礎を中心に勉強しました。数学では青チャートを、理科基礎では自分で購入した参考書を利用していました。集中できないと感じたときは古文単語や古文文法、ビンテージ、社会科目の参考書を読んでいました。また、推薦内定後は共通テスト対策と並行してITやプログラミングの勉強をしていました。

(3) 先輩へのアドバイス

・検定や留学など、学校外での活動にも積極的に取り組むこと
・1年生で基礎を固めること
・模試の復習はしっかりやること
学校外での経験は実績につながるだけでなく、自分の見聞を広げる機会にもなります。また、早いうちから基礎が固まっていると受験勉強にとっても有利だと思います。模試は復習がメインだと思います。解きっぱなしではもったいないです。

本校25期生(令和7年3月卒業) 女性